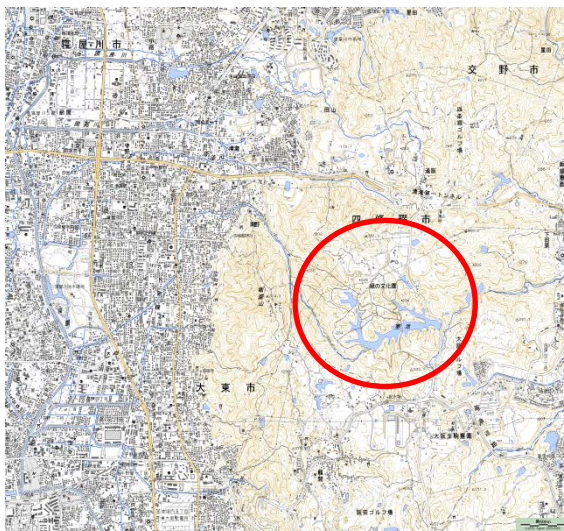


## むろいけ園地における標識調査

奈良 関 優

### 1) 府民の森・むろいけ園地の概要

府民の森は大阪府政100周年の記念として作られ、むろいけ園地は、その中の緑の文化に隣接しています。むろ池は、新池、古池、中ヶ池、砂留池に分かれ昔はこの水が下流の田畑の大切な水源になっていました。園地へのアクセスは、JR学研都市線、四条畷駅より蟹ヶ坂または権現坂より約1時間かけて歩くか、バスさつきヶ丘公園行きで逢坂下車10分ほど歩くか、近鉄、生駒駅タクシーで行くか、いずれにしても交通の便の悪いところにあります。



標識調査は森の工作館  
周辺の林、田んぼ跡で実施

新池周辺の環境





2007年頃の尾根の網場の様子です。写真のように密閉した林で高木層にコナラ、アカマツ、サクラ。低木層にヒサカキ、シロダモ、ヤブニッケイなどの常緑樹が覆っていました。ここに、3枚～4枚の網を張っていましたが、枝が多く設置しづらい場所でした。放鳥種としては、メジロが一番多く、その他ではカラ類の放鳥も多くありました。



その他、網の張れる場所を、あちこち探しましたが、そのなかで現在でも継続しているのが、昔の田んぼ跡、ここはススキ、ササが優先種で、その先に雑木林が続いています。ここでは冬季、アオジの放鳥が多くあり、その他、ベニマシコなど尾根とは違う種類の放鳥があります。



2010年頃から、園地の整備が始まり場所によっては、高木のコナラを残し低木のヒサカキ、アオキなどが、ほとんど切られた場所も出てきました。写真は2015年当時の尾根付近の様子で透け透け状態になったのがわかります。



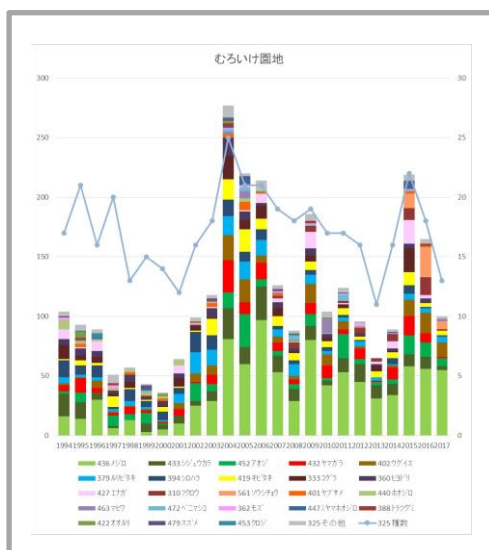


2014年頃から、カシノナガキクイムシによるナラ枯れが大発生し園地も大被害にあいました。写真は9月の網場近くの斜面の様子で、高木のコナラに葉がなく枯れているのがわかります。

また、枯れた枝が至るところに落下し危険だという事で、片端から切られる事になりました。とくに遊歩道付近は大量に伐採されましたが、網場周辺は林内という事で、ほとんど放置されている状態です。そのため枯れ枝の落下の危険があるため、尾根の網の枚数を調整したり、設置を見送っている場所もあります。

### 3) 放鳥記録から見て

むろいけ園地の調査も24年になりました。月1回の調査を基本にしていますが、天候や諸事情で実施できなかった時や調査人数の関係で網の枚数を調整したり、設置場所を変えたりしたため、説明にむづかしい部分もありますが、長年の結果を総合的に見ると、だいたいの特徴がわかってくるのではと考えます。



グラフは過去の放鳥数を年別にまとめたものです。

放鳥数にかなりの差がありますが、これは、前記の事情のほか調査時間帯の影響もあると思われます。

下記の表は過去のデータを月別にまとめたものですが、むろいけでの種類ごとの動きが見えてきました。その中で現在、注目している事が①冬鳥のアオジの放鳥数と再捕獲から推測できること。②ウグイスは年間通じて放鳥していますが、近年ソウシチョウの観察、放鳥例も出てきました。環境的に競合する両種が今後、どうなるのか観察も含めてみていきたいと思っています。

1994年～2017年、月別放鳥記録														
番号	種名	月												総計
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	
1	コンユケイ				1									1
2	キンハト									1				1
3	ホトキス					1		2						3
4	フクロウ				16	34	2	2						52
5	アカショウビン							1						1
6	カウセミ	1			1		3							5
7	アオケラ				1		1	3	1	1		2		9
8	アカケラ										1			1
9	コケラ	5	1	4	13	23	14	22	15	8	7	7	9	128
10	キセキレイ						1							1
11	ヒンズイ										1			1
12	ヒヨドリ	5	7	4	12	17	13	14	5	1	8	6	5	97
13	モズ	4	2		1						3	4	1	15
14	ミソサザイ	1												1
15	カヤクグリ											1		1
16	コマドリ				1									1
17	ノゴマ											1		1
18	コルリ								1					1
19	ルリビタキ	26	10	4	8							72	34	154
20	ショウビタキ	2										1	2	5
21	トラツグミ	3	2	2	1							2	3	13
22	クロツグミ				3					1	1	2		7
23	アカハラ				1									1
24	シロハラ	25	12	11	16						5	54	28	151
25	ツグミ	1										1		2
26	ヤブサメ				3	8	10	2	5	1				29
27	ウグイス	14	8	10	14	19	17	27	13	4	7	18	15	166
28	メホトムシクイ										1	1		2
29	メホトムシクイ上種					1			3	1	1			6
30	エゾムシクイ								5	1				6
31	センダイムシクイ				4	4	1							9
32	キクイタダキ	1												1
33	キビタキ				14	29	26	16	13	22	24	2		146
34	オオルリ					2	2	3	2	1	3			13
35	コサメビタキ					2		1						3
36	サンコウチョウ						2							2
37	エナカ	9	1	11	9	6	4	1			11	22	10	84
38	ヒガラ		1								2			3
39	ヤマガラ	6	4	8	11	33	14	28	30	15	14	9	5	177
40	シジュウカラ	23	12	11	33	26	16	21	15	11	18	34	29	249
41	メジロ	54	10	16	50	46	85	146	70	126	85	198	39	925
42	ホオジロ			1	5	11		4	5		2		1	29
43	カシラダカ				1									1
44	ミヤマホオジロ	2	2	1							1	6	3	15
45	アオジ	28	15	22	11							68	44	188
46	クロジ				1						4	4	1	10
47	カワラヒワ			2										2
48	マヒワ	2	5	3	1								14	25
49	ヘビマシコ	4	3									8	4	19
50	ウソ		1											1
51	シメ	2											1	3
52	スズメ				1	2	9							12
53	カケス										1	1		2
54	ハシホトガラス								1	1				1
55	ハシブトガラス							1						1
56	ソウシチョウ	2			1	6	11	12	2	7	1	2		44
	フメイ・フシツ・ハソク											1		1
総計		220	96	110	234	270	231	304	186	201	201	528	247	2828

アオジ全放鳥数188羽のうち29羽が再捕獲されました。

このうちRPが19羽で、この個体は、むろいけで越冬している可能性が高いと考えられます。また、RTが5羽、2回RTした個体が2羽、また、RPからRTした個体が2羽おり、複数回、むろいけにやってくる個体がいることもわかりました。

再捕獲一覧										
年	月	頃	放鳥日	ガイド	ナンバー	種名	性	齢	新・再	初放鳥日
1995	02	中	19950211	02D	08049	アオジ	M	A	N	
1995	03	下	19950326	02D	08049	アオジ	M	A	P	19950211
1997	03	中	19970316	02J	26036	アオジ	M	A	N	
1997	04	中	19970420	02J	26036	アオジ	M	A	P	19970316
1998	11	上	19981108	02L	83801	アオジ	M	J	N	
2003	12	下	20031221	02L	83801	アオジ	M	A	T	19981108
2002	12	中	20021215	02L	83801	アオジ	M	A	T	19981108
1999	01	下	19990123	02L	83955	アオジ	M	J	N	
2002	11	中	20021117	02L	83955	アオジ	M	A	T	19990123
1999	12	中	19991212	02L	83955	アオジ	M	A	T	19990123
1999	02	下	19990228	02L	83959	アオジ	F	J	N	
2000	02	下	20000227	02L	83959	アオジ	F	A	T	19990228
1999	12	中	19991212	02L	83959	アオジ	F	A	T	19990228
2002	01	上	20020106	02M	44084	アオジ	M	A	N	
2006	03	下	20060326	02M	44084	アオジ	M	A	P	20020106
2003	11	下	20031122	02M	44084	アオジ	M	A	T	20020106
2002	02	下	20020224	02M	44088	アオジ	F	J	N	
2002	11	中	20021117	02M	44088	アオジ	F	A	T	20020224
2002	02	下	20020224	02M	44089	アオジ	M	J	N	
2002	11	中	20021117	02M	44089	アオジ	M	A	T	20020224
2003	11	下	20031123	02M	44190	アオジ	M	J	N	
2005	03	下	20050326	02M	44190	アオジ	M	A	P	20031123
2005	01	中	20050116	02M	44190	アオジ	M	A	T	20031123
2004	03	中	20040313	02M	44313	アオジ	M	A	N	
2004	04	中	20040417	02M	44313	アオジ	M	A	P	20040313
2004	12	中	20041212	02M	44513	アオジ	F	A	N	
2005	02	中	20050212	02M	44513	アオジ	F	A	P	20041212
2004	12	中	20041212	02M	44514	アオジ	M	A	N	
2005	02	中	20050212	02M	44514	アオジ	M	A	P	20041212
2004	12	中	20041212	02M	44517	アオジ	M	A	N	
2007	01	下	20070121	02M	44517	アオジ	M	A	T	20041212
2004	03	中	20040313	02M	44522	アオジ	M	J	N	
2004	12	中	20041212	02M	44522	アオジ	M	A	T	20040313
2004	12	中	20041212	02M	44531	アオジ	M	J	N	
2005	03	下	20050327	02M	44531	アオジ	M	A	P	20041212
2005	11	中	20051113	02M	44531	アオジ	M	A	T	20041212
2005	01	中	20050116	02M	44533	アオジ	M	A	N	
2005	03	下	20050326	02M	44533	アオジ	M	A	P	20050116
2005	01	中	20050116	02M	44540	アオジ	M	A	N	
2005	03	下	20050327	02M	44540	アオジ	M	A	P	20050116
2009	01	中	20090117	02M	45102	アオジ	F	A	N	
2009	03	下	20090329	02M	45102	アオジ	F	A	P	20090117
2009	02	上	20090208	02M	45105	アオジ	F	A	N	
2011	12	中	20111211	02M	45105	アオジ	F	A	T	20090208
2009	11	下	20091129	02M	45187	アオジ	M	J	N	
2009	12	中	20091220	02M	45187	アオジ	M	J	P	20091129
2011	11	下	20111127	02M	45417	アオジ	M	J	N	
2011	12	上	20111210	02M	45417	アオジ	M	J	P	20111127
2011	12	中	20111211	02M	45448	アオジ	M	A	N	
2012	03	下	20120325	02M	45448	アオジ	M	A	P	20111211
2006	01	下	20060127	02Y	57301	アオジ	F	J	N	
2007	01	下	20070121	02Y	57301	アオジ	F	A	T	20060127
2012	11	下	20121125	2AF	79904	アオジ	M	J	N	
2013	03	下	20130324	2AF	79904	アオジ	M	A	P	20121125
2014	11	下	20141123	2AF	79986	アオジ	F	J	N	
2015	01	下	20150125	2AF	79986	アオジ	F	J	P	20141123
2014	12	中	20141214	2AF	79995	アオジ	M	J	N	
2015	03	上	20150308	2AF	79995	アオジ	M	A	P	20141214
2015	11	下	20151129	2AG	40292	アオジ	M	J	N	
2015	12	中	20151213	2AG	40292	アオジ	M	J	P	20151129
2016	03	中	20160313	2AJ	06905	アオジ	F	J	N	
2016	03	下	20160327	2AJ	06905	アオジ	F	J	P	20160313
2016	03	下	20160327	2AJ	06911	アオジ	M	J	N	
2017	01	下	20170129	2AJ	06911	アオジ	M	A	T	20160327